

9月は、運動会や文化祭、音楽会等の大きな行事が行われる学校が多いですが、行事に向けた準備の慌ただしさの中で、学級の日常の活動に目が向きにくい時期でもあります。2学期前半に、互いを思いやりながら落ち着いた学級の雰囲気を作り出せるように、学級の係活動や班活動が充実する取組を進めてみましょう。学級での地道な活動の積み重ねが、学校行事の成功にも結び付くことでしょう。



<小学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

パートナーソングで学級の歌を楽しく!!

子どもたちが互いの歌声を聴き合い、歌の響きに美しさや面白さを感じることができる、こんな活動はどうでしょうか?



パートナーソング

パートナーソングは、2つの曲を同時に、同じ調で歌う歌です。例えば

- ・ロンドン橋とメリーさんの羊
- ・ゆきと春が来た
- ・小さな世界の前半と後半
- ・山の音楽家としょうじょう寺の狸ばやし



これらをクラスで2つに分かれて同時に歌うと自然にハーモニーができ、その響きを感じる活動が生まれます。調と小節数が合っていれば、どんな曲もパートナーソングになります。合唱の導入や興味関心を高めることにも最適です。チャレンジしてみましょう。



相手を思いやる心を育む班活動



給食当番や清掃活動など、生活班での活動は日常的に行われます。だからこそ、それらの活動の振り返りを効果的に位置付ける工夫が、自己有用感や他者を理解する力を育みます。

- 帰りの短時間学活の「振り返り」の時間の中に、「生活班の活動でよかった友の姿」を位置付ける。
- 能力的なよさだけでなく、内面的なよさを広める。

「走るの速い」、「勉強ができる」といった能力的なよさだけでなく、「思いやりがある」、「前向きに取り組む」といった内面的なよさに気づけるよう、そのような発言や考えを意識して取り上げてみましょう。



<中学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

誰もが楽しむ文化祭に

生徒は、学校最大の行事である文化祭を楽しみにしています。大きな行事を機会に充実感・連帯感を育みたいものです。

【合唱練習の場面で】

日々の練習で、個々の思いや願いを共有していくことも大切です。

「音程を確実にするためパート練習を大事にする」や「口の開け方に注意したい」など、一人一人に合った目当てをもたせ、お互いに認め合うことで、活動の充実感に繋がります。

【大縄飛びの場面で】

生徒の中には、タイミングを計ることが苦手な人がいるかも知れません。

「手を取り合って、ジャンプのタイミング合わせる」など、最善の方法を尽くす方策を共に考え合い、実行することによって、クラスの連帯感を共有することもできます。



友のよさを認め合う場面の工夫

学活前に英語のノート配っていると、A君が手伝ってくれました。うれしかったです。

生活記録には、こんな内容が書かれていることがあります。「係だから当たり前」と、配られるのを待つのではなく、さっと手伝えるA君の機転や優しさ。そして、その行為の尊さを感じ感謝できる生徒の感性。生活記録に返事を書いて終わりにしてしまうのはもったいないですね。そこで、こうした内容に出合った際、書いた生徒に了解を得てコピーをし、相手の生徒の生活記録用ノートに貼ってみるのはどうでしょう。当事人同士はもちろん、周りの生徒にも嬉しそうにノートを見せる姿が思い浮かびませんか。生徒同士の心をつなぎ、更に、助け合い認め合う学級の土壌づくりに役立つひと工夫として、いかがでしょうか。